アリはいつ一番動く？

きっかけ

[illegible]

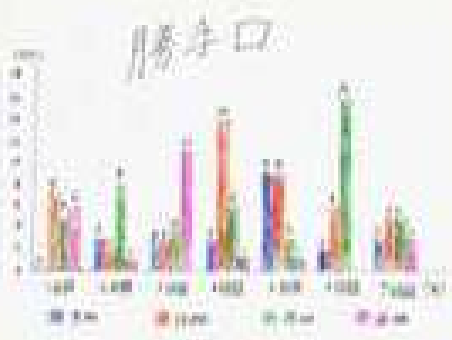
調べること

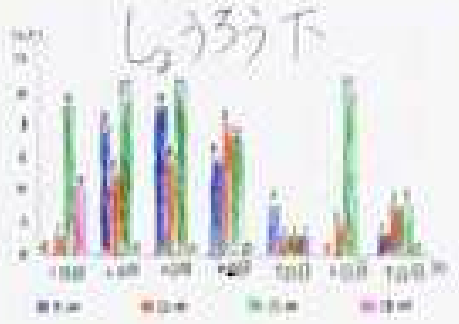
- 時間によってアリの数がどのように変わるかを調べる。
- 温度によってアリの数がどのように変わるかを調べる。
- [illegible]

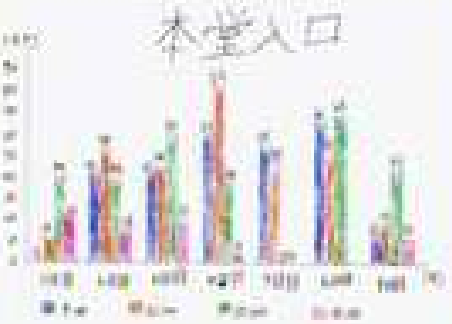
調べ方
調べる場所

- 昼と夜ではどの時間帯が最も活発にアリが活動しているか。
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]
- [illegible]



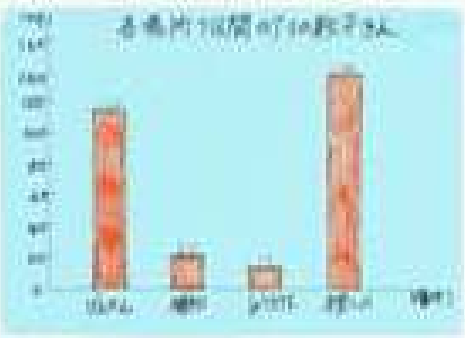






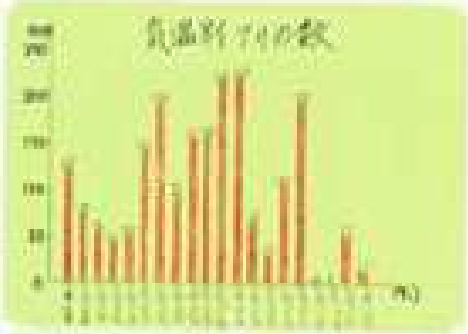
わかったこと

時間ごとにアリの数が変わっていた。
見つからないときもアリがいたし、多くのアリが見つかるときもあった。
9時～10時までは人は動いていて、15時～16時までは人は動いていなかった。どちらも活動していたアリと同じなのかもしれないと思った。



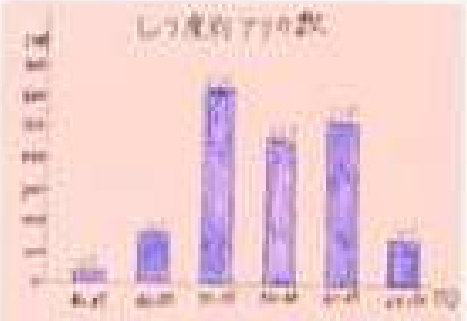
わかったこと

げんかんと本堂入口の人が出入りが多い場所にアリが多くいた。



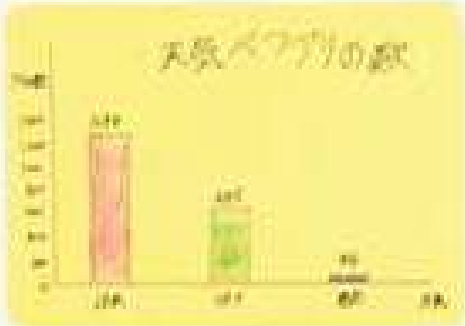
わかったこと

気温が上がるにつれてアリの数も多くなっていき、ピークを過ぎると少なくなっていった。最初は気温が低いときにアリの数が多いと思っていたが、気温が高いときにアリの数が多いことがわかった。



わかったこと

しつ度が50%～70%の間でアリが多く活動していた。
アリは[illegible]



わかったこと

晴れの日はアリがよく活動していた。雨の日は、でてきてもあまり活動していなかった。[illegible]

わかったこと

★アリは朝から出て活動し、雨の日は巣にもどって活動しない。
★くもりの日は気温が安定していてあらゆる活動がでる。
★活動のピークは20℃～30℃で活発。それ以上に暑くなると活動が減る。
★しつ度50%～80%くらいに活動している。

まとめ

アリは時間だけでなく気温やしつ度によって活動が大きく変わることがわかった。気温が高い時は活動しないが、ある程度までは気温が高くなると活動が増えるが、しつ度が高い時は活動しているアリが多かった。気温が高くなると蒸発するのでしつ度があるほうが動きやすくなるのかなと思った。